

都道府県名：神奈川県 団体名：桂川・相模川流域協議会

地域

桂川・相模川は、富士山の伏流水から成る富士五湖の最高地、山中湖を水源として、山梨県、神奈川県を流れ、途中、相模湖、津久井湖のダム湖を配し、相模湾に注ぐ全長 113 キロメートルの 1 級河川です。山梨県内では桂川、神奈川県内では相模川と呼ばれています。

桂川・相模川流域協議会は、桂川・相模川の恵み豊かな流域環境を将来の世代まで引き継いでいくことを目的とし、1998 年に策定した「アジェンダ 21 桂川・相模川」に基づき、「清く豊かに川は流れる」をイメージとして、流域に関わる市民、事業者、行政が、流域環境の保全について合意形成をはかり、長期的な活動を進めていくための機関として、各種事業を通じて流域の環境保全に取り組んでいます。

経緯

設立年月日：平成 10 年 1 月 20 日

設立の目的：桂川・相模川流域の流域環境を将来の世代までかけがえのない環境資産として引き継いでいくため、上流部の山梨県と下流部の神奈川県のそれぞれが流域に与えている環境負荷やその改善のために果たすべき役割を認識する中で、適切な協議に基づく相互合意のもとに、住民、企業、自治体等の参加により、一体となって環境保全行動を長期的に進める。

会員：市民・市民団体(103 名 / 団体)、事業者(26 団体)、行政(22 団体)※令和 6 年 4 月 1 日現在

功績内容

上下流交流事業：森林体験や水力養成講座など、上下流の交流を図る目的で山梨・神奈川両県で実施しており、年 2 回、約 150 人が参加。

流域シンポジウム：両県持ち回りにより流域環境保全の意識醸成を図る目的で年 1 回実施、約 120 人が参加。

クリーンキャンペーン：流域での清掃活動を行う団体へ物資、広報支援。年 30 回程度実施、約 2 万人参加。

環境調査事業：石倉カゴによるウナギ等生息調査(年 5 回、毎回約 15 人が参加)、身近な水環境一斉調査(年 1 回、約 40 人が参加)、アユ産卵動画撮影、田んぼの生きもの・アメリカザリガニ調査、タイワンシジミ調査などを実施。



上下流交流事業



アユ産卵動画撮影



カワラノギク保全活動



石倉カゴによる
ウナギ等生息調査



クリーンキャンペーン



流域シンポジウム